

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	日本産科婦人科学会 胞状奇胎の掻爬回数と続発症頻度に関する調査研究
研究責任者	福岡大学医学部産婦人科 教授 宮本 新吾
研究機関名	日本産科婦人科学会専門委員会
研究目的と意義	この研究は胞状奇胎除去術後の再掻爬が必要かを確認し、治療の指針を作成することを目的としたものであり、皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。
研究方法	<p>全国で2014年1月1日から2016年12月31日までの3年間に胞状奇胎除去術を施行された患者さんが対象となります。</p> <p>調査項目 年齢・妊娠分娩歴、初回治療前hCG値、初回治療年月および妊娠週数・施設・手術手技・病理診断・免疫染色・DNA診断の有無、初回治療後1週間目のhCG値、子宮内膜厚、再掻爬の有無、初回治療からの日数、再掻爬の施設・手術手技・病理診断、続発症の有無、部位、手術合併症の有無</p> <p>* 患者さんの指名や生年月日など、本人を特定できる一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報が公表されることはありません。</p> <p>本研究への協力を望まれない患者さんは、下記までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 産婦人科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：渡邊 理子 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>